

令和4年度地域運動部活動推進事業 合同部活動に関する実践研究 成果報告書（概要）

東かがわ市教育委員会

（地域における現状・課題）

東かがわ市立小中学校において、毎年50人近く小中学生数が減少している。市内で少子化が一層進む中、「学校単位」で活動し、「教員が指導」を担うことを前提とした「学校部活動」という仕組みを維持することは限界がきている。小中学生が減少した中でも、市内3中学校すべての生徒にスポーツに関わる機会を保障するためには、地域でスポーツに親しめる環境を新たに構築していく必要性がある。

（合同部活動の取組概要）

実践研究校：引田中学校、白鳥中学校、大川中学校

活動場所：引田中学校、白鳥中学校、大川中学校

指導者：学校教職員、卒業生、大学生

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス、保護者送迎

活動種目：軟式野球、バレーボール、バスケットボール、サッカー、剣道

会費等：徴収なし

（実践研究の成果）

従来の、競技・大会志向で特定の種目や分野に、継続的に専念する活動だけでなく、〇〇教室といったレクリエーション的な活動を行う場として、クラブイベントを新規に施行した。主にスポーツ少年団と連携しての活動になったが、生涯学習的な視点からの活動を行うことができた。

複数の種目でコーディネーターを配置し、学校と地域の連携を行うことができた。保護者懇談会を種目毎に開催し、事業の周知及び保護者の意見を聞きながら、組織運営をしていくスキームをつくることができた。

（運営体制図）

